

# 令和2年度 学校経営方針

令和2年4月1日 京都市立養正小学校

## 小中一貫教育目標

### 小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



## 学校教育目標

### 子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- 自ら考え表現し、学ぶことを楽しむ子の育成 【学力】
- 互いの良さを認め、共に高め合う学習集団の育成 【人権】
- 人との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成 【豊かな心】
- 望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 【健やかな体】



## めざす子ども像

- すすんで考え、学ぶことを楽しむ子 【学力】
- 自分や仲間の良さを認められる子 【人権】
- きまりを守り、楽しく活動する子 【豊かな心】
- 運動に親しみ、健康な生活をする子 【健やかな体】

### 1 めざす子ども像の具体化

「すすんで考え、学ぶことを楽しむ子」…学習意欲

- \* 授業での約束や学び方を身に付け、興味・関心をもって楽しんで学習する子ども
- \* 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- \* 教材(資料)や発言等を基に考え、自分の考えを分かりやすく表現する子ども

「自分や仲間の良さを認められる子」…思いやり

- \* 自分の良さに気づき、その良さをさらに伸ばそうとする子ども
- \* 仲間の良さや頑張りを素直に認め、相手を思いやる言動ができる子ども
- \* 様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けている子ども

「きまりを守り、楽しく活動する子」…ルール・マナー・エチケット

- \* 学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けている子ども
- \* 仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- \* 身近な人との関わりを楽しみ、相手・時・場に応じた言葉づかいができる子ども

「運動に親しみ、健康な生活をする子」…自尊感情

- \* 命や健康の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- \* 食事・歯磨き・睡眠・運動・学習等の基本的な生活習慣を身に付けている子ども
- \* 運動や外遊びに自ら取り組み、健康でたくましい体をつくろうとする子ども

## 2 目指す教職員像 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①全教職員が、会議や研修等で提案・確認されたことを、組織的かつ継続的に実践する。【徹底】
- ②個々の職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践・研修を通して自らの力量（指導力）や人権感覚の向上をめざす。 【研鑽】
- ③全教職員が、組織の一員として学校運営に参画し、教育課程や内容の見直し（カリキュラム・マネジメント）、業務の削減と効率化を進める。 【参画】
- ④学力向上・規範意識の高揚・生活習慣の定着を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。 【結果】

## 3 今年度の取組の重点

### (0)「組織力」「環境（学習環境・職場環境）」…チーム養成

- \* コミュニケーション、風通し、明るい雰囲気のある職場づくり（ソフト面）
- \* 美しい職場環境づくり（ハード面）⇒職員室・会議室・資料室 等
- \* 落ち着きのある学習環境の整備
  - ⇒ソフト面：あいさつ・丁寧な言葉づかい・温かい関わり・笑顔 等
  - ハード面：教室（総合・特別教室）・廊下・校庭・靴箱 等

### (1)「学習規律」「基礎・基本」「関心・意欲」「思考力・表現力」「自学自習」…「楽しい」が聞こえる

- \*『学びの約束・ルール』（小中一貫教育構想より）の実践・徹底＝年度当初より
- \* 生徒指導の三機能を意識した授業⇒チェックリストの活用
- \* 朝読書、ベーシック・ステップアップ、言葉ランドの確実な実践
- \* 「楽しい授業」「わかる授業」「考え、表現する授業」の積み重ね
  - ⇒ 基本的な学習過程【導入ー問題ーめあてー入学びー話し合い（グループ・全体）ーまとめー振り返り】
    - ★動機付け（しあげ），思考を促す発問、話し合いの視点
    - ⇒的確な支援【視覚教材（デジタル教科書など）・見やすい板書・指示 等】
  - ⇒授業研究、中堅若手自主研修等での積極的な授業公開⇒国語・算数を中心に
  - ⇒学校図書館・視聴覚室の積極的な活用
    - ⇒読書環境の充実：読書ノート・バッグの活用、学校司書との連携、読書週間
    - ⇒「学習・情報センター」として授業での活用
  - \*家庭学習（自学自習）の習慣化 ⇒宿題：提出の徹底と個別化、自学：内容の紹介
    - ★漢字・計算、音読・読み解き、「問題データベース」活用、ノートの掲示

### (2)「人権感覚」「自尊感情（自己肯定感・自己有用感）」「規範意識」…マナー・エチケット

- \* 人権を基盤にした学級経営＝一人一人が活躍できる居場所づくり
  - ⇒学級でのルールや約束の徹底＝安心感
  - ⇒生徒指導の三機能を意識した学級経営
  - ⇒特別な支援が必要な児童への全教職員での関わり・支援
- \* 人権に関わる学習活動や取組の着実な実践
  - ⇒「にこにこ集会」「学級での人権学習」「ようせいタイム」等の充実
  - ⇒児童会との連携：月目標、振り返り、教職員の意識
  - ⇒新たな人権課題への対応：「発達障害」「LGBT」「情報モラル」「虐待」等
  - ⇒不易の取組：同和問題にかかわる単元の指導、ハートフルタイム、インプロ、交流学習、コリアみんぞく教室

- \*「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践
  - ⇒生指ミーティング、ケース会議、保健室・SC・SSW及び家庭との連携
  - ⇒「くらまね」「いじめアンケート」「児童面談」の活用
  - ⇒『養正校のやくそく』についての継続的でぶれない指導

### (3)「生活習慣・生活リズム」「安全・危機管理」「運動能力・体力」…自分でできる

- \*健康教育推進計画に基づく実践の継続
  - ⇒基本的な生活習慣の定着に向けて：食事・歯磨き・睡眠・運動・生活リズム
  - ・「生活しらべ」の結果に基づく指導（子ども・保護者）
  - ・歯、口の健康改善＝給食後の歯みがき、歯の健康に関する指導
  - ・養護教諭・栄養教諭・給食調理員と学級担任との連携
  - ・体育学習の授業改善、「ロング昼休み」の活用等

#### \*自分の命・健康を守り切る力の育成

- ⇒学級活動：安全ノートの活用、避難訓練：様々な想定・三校合同研修
- \*「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応
- \*防災マニュアルの改善と共通理解、校内の危険箇所の点検と整備

### (4)「コンプライアンス」「働き方改革」「その他」…気持ちよく

- \*法令遵守の徹底、教育公務員としての倫理観の向上
- \*時間・物の有効活用＝業務削減、放課後の時間の捻出、仕事コントロール
  - ⇒会議等の時間、電話対応・施錠時刻、仕事のめりはり、授業時数の確保
  - ⇒働き方改革は時間だけの問題ではない！職場環境・働きやすさ・働く意欲
  - ⇒公費の適正な執行＝物品・教材等の見通しをもった購入、光熱水費等の節約
- \*地域、関係諸機関との積極的な連携
  - ⇒高野中学校区三校、校区保育所、児童館、東山総合支援学校、児童相談所 等
- \*新学習指導要領の共通理解と実践
  - ⇒「道徳」「外国語科（外国語活動・英語活動）」「学習評価」「カリキュラム・マネジメント」等